

Ring Network

Vol. **05**
2023 **5/31**



新時代は、**変革**の年

東亜グラウト工業(株) 代表取締役社長

山口氏にお話しを伺いました



ました。自分たちの行動にも反省すべき点はたくさんあります。ダーウインは、力が強い種ではなく、変化に適応した種が生き残ると、進化論の中で述べていますが、企業も個人も同じ。くしくも昨年は創業者である大岡伸吉(前柔構造物工法研究会会長)氏が逝去し、大きな柱を失った年でもありました。今年はその意味から、意識と行動を変える「変革の年」を方針に掲げました。

コロナ明け、どのような年になると予測されているか

昨年はウクライナ・ロシア紛争や安倍元首相の襲撃等、想定外の出来事が多い年でした。円安の進展や物価高等も我々の企業活動や家計を直撃しました。一方今年にはコロナが落ち着き、国内は観光業・飲食業を中心に内需は大幅に戻ると見られます。建設土木関連も国土強靱化予算は潤沢で、地合いは決して悪くないと思います。

東亜グラウト工業の今年度の方針は?

昨年は前述した想定外の事象に対応仕切れず、非常に苦戦した年となり

具体的な「変革ポイント」とは?

一つ良くない例をあげれば、「営業」でしょうか。社内会議でも幹部を叱りつけた。コロナ禍であることを言い訳に、思うように営業できなかったと多くの幹部が言いましたが、私は昨年、WEBを含めた面談の総数はコロナ前より多かったのです。WEB面談は比較的アポイントがとりやすく、移動時間も発生しません。官庁やコンサルの方は、むしろWEB面談を喜んでくれました。従来の対面による営業手法に固執し、変化に対応しなかった、いや、しようとしなかった悪例です。幹部がこれでは情けない。社内外の変化に適応する為の

「会員の皆さまへのメッセージ」

今、建設土木業界は不人気業種の一つと言われていますが、どうでしょうか。我々自身がそれを甘んじて受けているようなところはありますか?

我々の仕事は、社会インフラを構築し、保全する仕事。安心・安全な生活を送るためには必要不可欠であり、他業界と比較し、安定性は極めて高いと思います。

別に格好をつける必要はありません。現場で働いているみなさんの、ありのままの姿を見れば、それで十分、格好いいのではないのでしょうか。



当社はSNS広報に力を入れており、私自身がユーザーになって、建設土木業の魅力を発信しています。この業界はSNS広報に關し、随分遅れていると認識しています。そしてこれからは、メタバ

ス広報が主流になるかもしれません。是非一緒に建設土木業界の魅力を発信し、業界を盛り立てていきましょう。

社会インフラの構築・保全。皆さんの安心・安全な生活を守るために

世界の柔構造物

柔構造物は世界中で様々な用途で使用されています。GEOBRUGG社より特別な事例を紹介していただきました。



セルフクリーニング式落石防護柵

2016年11月にNZで発生した北カンタベリー地震(M7.8)は沿岸地帯に甚大な被害をもたらしました。国道1号線にそびえる高さ100mの崖は硬砂岩であるため、今後も頻繁に落石が発生することが予想されました。その為、メンテナンス性を考慮し、落石がバウンドして海側に放出されるセルフクリーニングタイプが採用されました。リングネットの直径より小さな落石も逃さぬよう、2次メッシュにはTECCOネットが使用されました。

クマの聖地

スイス・アローザのコミュニティで、クマの保全を目的として2.8ヘクタールの敷地に保護区を作る決定が下されました。周辺を囲うフェンスの条件は、標高2,000mの積雪に耐えること、険しい起伏に順応すること、電気線も装備できることなど多岐にわたりました。そこで、特別設計の支柱、TECCOメッシュ、ワイヤロープをメイン部材としてすべての要件を満たすフェンスシステムを完成させました。現在では4頭のクマが大自然の中でのびのびと暮らしています。



こちらQRコードからご覧になれます



「セルフクリーニング式落石防護柵」実験動画、配信中です

Ring Network

Vol. **05**
2023 **5/31**



「落石・崩壊土砂・土石流対策」講習会開催／施工現場出前講座

福岡にて講習会開催

令和5年2月9日、福岡県福岡市にて、「落石・崩壊土砂・土石流対策」講習会を開催いたしました。当日の会場は満員御礼。皆様のご協力を賜り、お蔭様で大盛況のうちに終了しました。



石川技術顧問の発表

- ニューノーマル時代におけるリーダーシップについて
…… 東亜グラウト工業(株) 代表取締役社長 山口乃理夫
- 斜面防災・減災106のノウハウ
…… (株)NEXCO総研 研究アドバイザー 奥園誠之
- 治山施設の整備推進により流木災害は防げる
…… 東京農工大学 名誉教授 石川芳治
- 九州における柔構造物工法の展開について
…… (株)ナンワ工業 代表取締役社長 川畑佑樹 他

いただいた ご感想 (抜粋)

たくさんのご意見ご感想に心より感謝申し上げます。これからもより一層精進して参ります。

- ・特別講演について、大変参考になった。経営コンサルの講話より業界の現役社長の話は説得力があった。
- ・柔構造物について新工法を理解できた。今後、使用する機会があれば今回の講習を活かしていきたい。
- ・具体的な施工例の紹介等もあり、設計時のイメージができた。衝突実験も動画が非常に分かり易かった。 他

出前講座

令和4年度、北陽建設(株)様／(株)アイビック様 施工現場にお邪魔し、施工で工夫された点をお伺いしつつ、研究会からもプレゼンをさせていただきました。



北陽建設様

木村技術委員長のプレゼン



アイビック様

施工現場で田畑会長と意見交換

会員の皆様のご創意工夫や涙ぐましい努力を目の当たりにし、感無量の事務局でした。



令和5年度年間行事予定

5月	令和5年度定時総会	四谷 主婦会館
6月	写真コンテスト募集開始	
10月	建設フェア北陸	(後援)
10月	鋼構造・柔構造 合同講習会	
11月	鉄道技術展	(後援)
	先進建設・防災・減災フェア	(後援)
12月	現地見学会	
2月	単独講習会 in 四国	3年前の小海線 現地見学会の様子



私の母から何度も聞かされた話



～田畑会長からのメッセージ～

金原明善は、幼い頃からたび重なる天竜川の洪水による惨禍を身をもって体験し、天竜川水系の治山治水と開発こそが遠州(現在の浜松市)の人々のしあわせを高める唯一の道であると確信し、以来自分の資産をすべて投げ寝食を忘れて、天竜奥地の植林と川沿いの護岸と兩岸の用水工事に没頭し、豊かな大穀倉地帯を作り上げたのである。

彼の信条は、

- ・実を先にして名を後にす
- ・行を先にして言を後にす
- ・事業を重んじて、身を軽んず

彼の業績を讃え、

またその遺風を

後世に継承していくべく、

金原治山・治水財団は

今も脈々と生き続けている。



金原明善 1832(天保3年)～1923(大正12年)

編集後記

Ring Network Vol.5 いかがでしたでしょうか?

今回出前講座で訪れたアイビックさんの現場「和歌の浦遊歩道」(下田市)は「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」2つ星を獲得されているそうです。右手に美しい海、左手に野性味あふれる山の景色を楽しめる風光明媚なコースです。皆さまぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。今回の貴重な機会にはもちろん、景観、安全、安心を丸ごと守ってくれている、現場の設計や施工に携わる全ての「格好いい」皆様へ、心から感謝申し上げます。

support@japan-ring.net 皆さまからのご意見・ご感想お待ちしております!